

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ（「お知らせ」令和5年12月号）

令和5年12月1日

ついこの間まで暑かった気がするのに、もう冬支度の候となりました。花の業界の方のお話では、気候変動が進んで日本が亜熱帯化すると、私たちが長らく愛でてきた春秋の草花がほとんど姿を消すだろうとのこと。

12月の活動日は17日（日）9：00～10：30です。（1月は14日の予定）
軽い手入れ作業です。初めての方もどうぞご参加ください。

.....

〇トピックス：

- 11月12日（日）の活動日、ボランティア7人で南口「みんなの庭」に高知市提供の冬～春花（パンジー、ビオラ、ノースポールなど）226株を植え付けました（写真）。これに先立ち、枯れかけた夏～秋花除去、土起こしなど前川種苗さんをお願いしました。
- 11月10日（金）、北口の四国銀行に出向いて、当会銀行口座の名義人変更手続きを済ませました（故中田→北添）。更に高知市みどり課を訪問、現状報告をいたしました。



植替え後の「みんなの庭」、
左上は花苗、左下は水遣り



秋の花（庭の半分は混植で、
多年草が育っています）



北口駐輪場植栽の紅葉
（2015年に植樹）

.....

駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え（花苗持ち寄り、勤労奉仕、ご寄付など）をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒781-8104 高知市高須3丁目32の8 北添優子
携帯電話：090-4783-5578 E-mail：gonta.kitazoe1960@docomo.ne.jp
共同幹事 公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp

ホームページ：http://mori-kochi-eki.jimdo.com/（「お知らせ」バックナンバー掲載）

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 会計北添優子」名義 普通 0709695

—素晴らしいが具体的な行動が欲しい—

「2016 高知市緑の基本計画改定（案）」へのコメント

高知市ホームページのパブリックコメント募集欄に掲載されていた、「緑の基本計画」2023年改訂版（案）*に対する感想です。

全文200ページ近くの改訂案は、「資料編」に殆ど手がつけられていないことなどからも、限られた時間内での急ぎ働きの感がありますが、総じて素晴らしい出来だと思いました。

*この度の改訂は、2016年の改訂から7年を経て、「社会経済情勢が大きく変化し・・・特に、2030（令和12）年を目標年とする持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取組促進、脱炭素社会への移行や生物多様性の保全に対する意識が高まった」ことなどを踏まえたものだそうです。

筆者が注目したのは次のような箇所です。

- 高知市の「緑の現況」について、市街地に緑が少ないのは、高度成長期以降の緑地減少**が大きく関わっていることを指摘した。
- したがって、「人口減少社会に直面するなか、これまでのように次々と新たな施設整備を進めていくことは効果的ではありません」と述べ、「コンクリートなどの人工物で造られたインフラ（グレーインフラ）に対して・・・持続可能かつ戦略的なグリーンインフラの推進が重要」だとした。更に、みどりの回復はヒートアイランド現象（真夏の日中、市街地は樹林地より平均5℃高温）の緩和に欠かせないとも。
- 「高知市の玄関口であるJR高知駅は緑が少なく、主要な道路の中には街路樹の強剪定によって限定的にしか緑を感じることができない状況もみられます」と述べたうえで、「JR高知駅前などの市の玄関口や高知城、桂浜公園など主要な観光地、商業集積地など人の集まる施設の緑は、本市のイメージを大きく左右します。また、大きく美しい街路樹が並んだ景観はまちの風格を感じさせてくれます。そのため、各拠点の緑の質を高めるとともに・・・緑のネットワークが市域全域に広がったまちを目指します」と宣言した。
- 緑化を推進して「うるおいある緑を育む」には役所だけでは限界があるため、「市民との協働」（地元自治会や商店街、学校、PTAなどの地域住民の協力）促進の重要性を強調した。

**1987年 - 2021年の34年間で、高知市都市計画区域内（市のほぼ南半分）の緑地が1,534ヘクタール（東京ドーム328個分）＝13%減少。増えたのは主に建物・施設。

望まれるのは、これからの行動計画（アクションプラン）

計画は実現しなければ意味が無く、具体的な行動無しには実現は困難です。

例えば、「市民との協働」の分野は、「花と緑の情報提供、話題発信、みどりの日や都市緑化月間など緑化PR活動などにより、緑化に関する啓発活動を実施します。緑の基本計画の基礎調査（緑視率）などを定期的実施し、自然環境に関する基礎情報を蓄積し、市民へ情報提供を行います。広報紙、パンフレット、緑の相談所、インターネットを活用し、緑に関する情報を広く発信します。」とかなり具体的ですが、何をいつまでに実行するのかまでは判然としません。

仮にですが、広報強化の一環として、季刊広報誌「みどりのまち」（「あかるいまち」とは別に）を2024年度に発行を開始するとすれば、これは行動例です。

次の課題として、（予算の裏付けを伴った）「行動計画」を分野ごとに順次策定し、ホームページか「みどりのまち」などで公表していただけることを期待します。